

令和2年度における文化芸術振興関連施策（実績）

山口県文化芸術振興条例に基づき、「やまぐち文化芸術振興プラン」に掲げる文化芸術の振興のための取組を推進し、多様な主体と連携しながら、本県の「文化力」の向上に努めた。

◆コロナ禍における取組

令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症により、多くの文化芸術関係の各種行事などが中止や延期を余儀なくされた。コロナ禍にあっても本県の文化芸術を後退させることのないよう、当初予算に加え、4月補正予算、6月補正予算を措置し、県立美術館におけるオンライン予約をはじめ、文化活動を行う個人・団体支援や動画配信等による文化芸術活動の振興を図った。

1 やまぐちの文化力を活かした交流の拡大

① 【重点】多様な文化資源を活かした地域のにぎわい創出

地域の様々な文化資源を活用し、多くの人々を惹き付け、交流を促進し、地域のにぎわいを創出するほか、文化資源を活かしたMICE(マイス)誘致を促進するとともに、国内外の方に本県文化の魅力を発信し、文化芸術を通じた相互理解につなげる。

■やまぐち文化プログラム推進事業

【決算額：32,035千円】

国の文化プログラムの全国展開に合わせ、県内文化の魅力発信を図る。




(1) 美術館魅力発信プロジェクト

ア) 県立美術館

概要	周辺施設（博物館、文書館等）や民間等と連携したワークショップやアートイベントを開催
内容	<p>【実施体制】ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会</p> <p>①HEART (2/21) 【参加者数：40人】</p> <p>・本県出身の現代美術作家 渡辺おさむ氏によるスイーツのデコレーション技術を取り入れたアートのワークショップをオンラインで開催 ※県美展延期に伴い、その他関連イベント中止</p> <p>②雪舟タウン・お宝タウンやまぐち[展示] (9/15～3/28) 【参加者数：4,749人】</p> <p>・コロナ時代における新しい鑑賞スタイルに対応した雪舟600年展など館蔵品による特別企画展の開催</p>

内容	<p>③雪舟タウン・お宝タウンやまぐち[5Gアートスクール] (12/18)</p> <p style="text-align: right;">【参加者数： 36人】</p> <p>・県立美術館と宇部市立二俣瀬小学校、周防大島町立沖浦小学校を5G通信でつなぎ、美術館から雪舟の国宝「四季山水図」の高精細で大容量の画像を配信して行うリアルタイム授業を開催</p> <p>※5G：第5世代移動通信システム。高速・大容量、低遅延、多数接続が特徴。</p>
	  

イ) 県立萩美術館・浦上記念館

概要	<p>美術館周辺で開催する地域イベントと連携したワークショップやアートイベントを開催</p>
内容	<p>【実施体制】萩美まちなか交流実行委員会</p> <p>①アート・フェスティバル2020を開催(8月)</p> <p>・ワークショップを介した交流促進を目的としたアートイベント</p> <p>※コロナ禍のため中止</p> <p>②萩美祭2020を開催(12月～2月動画配信を順次開始)</p> <p>・萩焼を活用し、いけばな制作と作品解説を組み合わせた「花と萩陶芸のコラボレーション」動画配信企画</p> <p>※コロナ禍のため、体験型イベントを動画配信に変更</p>
内容	  

(2) 総合芸術文化祭（分野別フェスティバル）

概要	<p>音楽、文芸、生活文化等、多彩な分野にわたる文化団体による文化芸術活動の発表機会（コンクール、フェスティバル、展示会等）を設けるとともに、県民の文化芸術活動への参加を促進</p>
内容	<p>【実施体制】やまぐち文化プログラム実行委員会</p> <p>開催時期：6月～3月（県内各地）</p> <p>参加者数：2,737人</p>

## 【分野別フェスティバル】

	行事名(主催者)	開催予定日	開催地等	参加者数
1	第29回民謡コンクール大会 (山口県民謡連盟)	6月14日(日)	佐波公民館 (防府市)	中止
2	第38回山口県書道連盟展 (山口県書道連盟)	7月17日(金)～19日(日)	アスピラート (防府市)	中止
3	第59回全日本吹奏楽コンクール山口 県大会(山口県吹奏楽連盟)	8月1日(土)～3日(月) 8月7日(金)～9日(日)	周南市文化会館 下関市民会館	中止
4	第75回合唱コンクール山口県大会 (山口県合唱連盟)	8月9日(日)	シンフォニア岩国 (岩国市)	中止
5	第28回いけばな展 (山口県いけばな作家協会)	9月10日(木)～15日(火)	下関大丸 (下関市)	中止
6	第33回全日本マーチングコンテスト山口県 大会(山口県マーチングバンド連盟)	9月22日(火・祝)	萩市民体育館 (萩市)	中止
7	第68回山口県川柳大会 (山口県川柳協会)	10月11日(日)	※誌上大会 (大会誌制作)	1,087人
8	第52回山口県邦楽大会 (山口県邦楽連盟)	10月18日(日)	アスピラート (防府市)	中止
9	第53回山口県母のコーラスフェスティ バル(山口県母の合唱連盟)	10月25日(日)	萩市民館 (萩市)	中止
10	第57回山口県俳句大会 (山口県俳句作家協会)	11月8日(日)	下関市民会館 (下関市)	中止
11	第61回山口県演劇祭 (山口県演劇協会)	11月14日(土)～15日(日)	宇部市文化会館 (宇部市)	中止
12	第55回山口県歌人協会短歌大会 (山口県歌人協会)	11月29日(日)	※誌上大会 (作品集制作)	387人
13	第48回山口県芸術演奏会 (山口県音楽協会)	12月6日(日)	岩国市民文化会館 (岩国市)	中止
14	第65回山口県交響楽団演奏会 (山口県交響楽団)	12月13日(日)	シンフォニア岩国 (岩国市)	中止
15	第44回全日本アンサンブルコンテスト山口県 大会(山口県管楽アンサンブル連盟) ※無観客開催	12月13日(日) 小・大・一般 12月26日(土) 中学校の部 12月27日(日) 高校の部	不二輸送機ホール (山陽小野田市)	967人
16	クラシック・モダン・ジャズ 3団体合同 洋舞フェスティバル (山口県洋舞連盟、山口県ジャズダン ス振興会)	2月21日(日)	山口市民会館 (山口市)	中止
17	第15回山口県ハーモニカ演奏交流会 (山口県ハーモニカクラブ)	3月20日(土)	不二輸送機ホール (山陽小野田市)	296人
18	'20現代山口県詩選 (山口県詩人懇話会)	詩集の発行	—	—
				2,737人

## ■その他の主要事業

（単位：千円）

区 分	決算額	事業の概要
アーティスト・イン・レジデンス事業【秋吉台国際芸術村管理運営事業の一部】 （文化振興課）	（事業の一部）	国内外の若手アーティストを秋吉台国際芸術村に受け入れ、創作活動の支援及び地域交流活動を実施 ◆フェロー事業（短期）：1人
東部地域文化振興事業 （文化振興課）	103	県東部地域において、日米交流の促進と地域文化の振興を図るため、日米交流の深化に資する文化芸術活動に対し助成を実施 実績件数：1件
フィルム・コミッション情報発信充実事業 （観光プロモーション推進室）	491	◆WEBサイトを活用した情報発信 ◆全国フィルムコミッション及び市町のフィルムコミッションとの連携
YAMAGUCHI MAGIC! プロモーション推進事業 （観光プロモーション推進室）	52,120	市町や民間企業、関係団体等との連携による、戦略的なプロモーションを展開 ◆観光5大要素を活かしたキャンペーンの展開 ◆民間企業との連携による情報発信 ◆Webやメディアを活用した情報発信力の強化
外国文化講座等の開催【山口県国際交流協会育成事業の一部】 （国際課）	（事業の一部）	県国際交流員、外国人住民、海外在住経験者等を講師として講座を開催 ◆外国文化講座 ◆多文化共生国際カフェ 等
きらめき活動助成事業 （（公財）山口きらめき財団）	—	自立支援「ゆめ」プログラム、課題解決支援「はな」プログラムにより支援

**② 【重点】日本を代表する画聖「雪舟」を活用した交流促進**

文化的・歴史的にも貴重な財産である山口ゆかりの画聖「雪舟」のブランド力を活かした取組等を通じ、国内外へ本県の文化芸術の情報発信を強化し、交流人口を拡大する。

**■2020年の雪舟生誕600年記念の展示の開催（県立美術館）**

生誕600年を記念し、多くの雪舟作品を集めた企画展を予定していたが、予定を変更し、コロナ禍の時代においても、ご来館いただいた方々に安心してゆっくりと展覧会を鑑賞していただけるよう「館蔵品による特別企画展」を開催した。

○名称 雪舟600年展

○会期 (前期) 10月31日(土)～12月21日(月) (48日間)  
(後期) 1月9日(土)～3月28日(日) (62日間)

**■最先端技術による新たな芸術文化魅力創出事業**

**【決算額：47,882千円】**

概要	5G等の最先端技術を活用し、子供や美術に興味関心が薄い層に訴求する山口の文化資源の新たな魅力を創出する。また、県立美術館を拠点として、広く県内に展開・波及することにより、美術館への誘客促進、県内周遊の拡大につなげる。
内容	<p>(1) 5Gアートスクール（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○12月18日、5G通信等により、県立美術館と宇部市の二俣瀬小学校、周防大島町の沖浦小学校をつなぎ、美術館から雪舟の国宝「四季山水図」の高精細で大容量の画像を配信して行うリアルタイム授業を実施</li> <li>○小学校同士をインターネットモニターシステム（スムーズスペース）でつなぎ、2校の児童が一つの教室で授業を受ける体験を提供</li> <li>○美術館や小学校を5Gで接続した遠隔授業は全国でも初の試み</li> </ul> <p>(2) 5GVRで探る山水長巻</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○雪舟の代表作 国宝「四季山水図（山水長巻）」の世界に入り込んだ体験ができるVR（仮想現実）を製作</li> <li>○2月23日から3月28日まで、館蔵品特別企画「雪舟600年（後期日程）」の開催に合わせて公開</li> <li>○NTTドコモ中国と連携し美術館で整備した5G環境の高速・大容量・低遅延の特性を活かし、大容量データのVRコンテンツをそれぞれのタイミングで複数同時に体験可能</li> <li>○「四季山水図」の見どころなどをCGにより解説する「解説パート」と水墨画の世界に入り込む体験ができる「体験パート」からなり、誰でも楽しめる内容</li> <li>○5G通信を活用して芸術作品を体感するVRコンテンツの制作・公開は全国初の試み</li> </ul> <p>(3) AR（拡張現実）動画解説を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○美術館からの「帰路の寄り道」を提案し、県内の周遊促進につなげていくため、水墨画関連の文化観光スポット（常栄寺と龍蔵寺）に観光志向のAR動</li> </ul>

	<p>画解説を整備するとともに美術館において紹介</p> <p>○ARは、何十年に一度しか公開されない秘伝など、デジタル技術ならではの内容</p> <p>○英語、中国語などの多言語で視聴可能</p>
--	---

### ③ 文化芸術の情報発信

本県の文化芸術を国内外へ積極的に発信する取組を強化し、県内の文化芸術の魅力向上と、文化芸術を通じた交流人口の拡大を促進する。

#### ■やまぐち文化プログラム推進事業（Cul-ちゃ やまぐち） 【決算額：971千円】

概要	<p>文化プログラムのコンセプトに沿った文化施設での公演や文化イベント等を「協賛事業」として認証し、ロゴマークを付与するとともに、これを付与したイベントの情報をウェブページや情報誌を通じて一元的に発信</p>
内容	<p><b>協賛事業</b> 188件（P5の分野別フェスティバルを除いた事業数）</p> <p><b>情報発信</b></p> <p><b>○紙媒体：文化イベント情報誌「Cul-ちゃ やまぐち」（平成29年9月～）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立文化施設、県内観光案内所、道の駅、商業施設、金融機関、学校、県外を含む旅行会社や県内各地の宿泊施設への配布</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">年2回発行 9月（第7号）、3月（第8号）（各2万部）</p> <p><b>○Web版：情報サイト「Cul-ちゃ やまぐち」（平成29年10月～）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Webページの運営（令和2年度アクセス数合計：33,752件）</li> <li>・文化観光スポットの紹介ページを作成（3月公開） <ul style="list-style-type: none"> <li>山口市・萩市の文化観光施設と萩往還の魅力と情報を英語とスペイン語で紹介</li> </ul> </li> <li>・動画配信ランディングページの作成（3月公開） <ul style="list-style-type: none"> <li>やまぐち文化動画配信事業「Cul-Tube YAMAGUCHI」の文化パフォーマンス動画や美術館所蔵作品の解説動画等を紹介</li> </ul> </li> </ul>



■やまぐち文学回廊情報発信事業

【決算額：378千円】

概要	<p>山口県の優れた文学資源を広く県内外にPRするため、「やまぐちの文学」や山口県ゆかりの文学者に関する情報を発信する。</p>								
内容	<p>①「やまぐちの文学者たち」の文学講座、やまぐちの文学を辿る文学散歩 ※コロナ禍のため中止</p> <p>②「ふるさと文学ギャラリー」常設展・企画展（県立山口図書館との連携開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○常設展 「やまぐちの文学者たち」40人の作品等のパネル展示</li> <li>○企画展</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">企画展テーマ</th> <th style="text-align: center;">開催期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふるさとの文学者たちと東京</td> <td>R2. 6. 27 ~ R2. 8. 27</td> </tr> <tr> <td>短歌雑誌「白梅」と山口県歌壇</td> <td>R2. 8. 29 ~ R3. 1. 10</td> </tr> <tr> <td>宇野千代とやまぐち</td> <td>R3. 1. 12 ~ R3. 4. 29</td> </tr> </tbody> </table> <p>③情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県政資料館におけるパネル展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩碑・歌碑・句碑・文学碑の写真・由来などを紹介</li> </ul> </li> <li>○情報誌、Webページ等の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌「C u l - ちゃ やまぐち」において、「やまぐち文学巡り」と題し、「やまぐちの文学者たち」を紹介。第7号（2020.9-2021.3）では、金子みすゞの紹介と各文学館等のイベント情報を紹介</li> <li>・Webページ「C u l - ちゃ やまぐち」において、各文学館等のイベント情報をPR</li> </ul> </li> </ul> <p>④調査・研究事業</p> <p>「やまぐちの文学者たち」に係る貴重な資料を次代につなげるため、主に閲覧困難な雑誌の調査・研究を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事前調査、資料の状況調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立大学郷土文学資料センター・県立山口図書館・中原中也記念館・事務局で構成するワーキンググループによる対象の決定</li> <li>・令和2年度の調査対象は、県立山口図書館等所蔵の文芸雑誌『詩園』</li> </ul> </li> <li>○現地調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象となった文献の書誌情報等を現地調査</li> </ul> </li> <li>○整理・公表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象資料の現地調査結果を分析し、目録データを作成</li> <li>・報告会（3月） ⇒ コロナ禍のため中止</li> </ul> </li> </ul> <p>⑤会員のPR機会の創出</p> <p><b>【実施体制】</b> やまぐち文学回廊構想推進協議会（平成9年6月設立）      会長：中原 豊（中原中也記念館館長）      構成：本県ゆかりの文学者の顕彰団体・文学館14団体、関係8市、県関係6機関・団体</p>	企画展テーマ	開催期間	ふるさとの文学者たちと東京	R2. 6. 27 ~ R2. 8. 27	短歌雑誌「白梅」と山口県歌壇	R2. 8. 29 ~ R3. 1. 10	宇野千代とやまぐち	R3. 1. 12 ~ R3. 4. 29
企画展テーマ	開催期間								
ふるさとの文学者たちと東京	R2. 6. 27 ~ R2. 8. 27								
短歌雑誌「白梅」と山口県歌壇	R2. 8. 29 ~ R3. 1. 10								
宇野千代とやまぐち	R3. 1. 12 ~ R3. 4. 29								



## ■その他の主要事業

（単位：千円）

区 分	決算額	事業の概要
県立文化施設における取組 <b>【各県立文化施設の管理運営事業の一部】</b> （文化振興課） （社会教育・文化財課）	（事業の一部）	情報誌の発行等 ◆県立美術館：「天花」年2回発行 ◆県立萩美術館・浦上記念館：「萩」年4回発行 ◆県立山口博物館：「山口県立山口博物館だより」年11回発行 ◆ホームページ、SNSを活用した情報発信 ◆シンフォニア岩国：「ひびき」年4回発行 ◆秋吉台国際芸術村：「秋吉台国際芸術村通信-AIAV News-」年4回発行 ◆ルネッサながと：「文化情報誌」年4回発行
県史編さん事業 （県史編さん室）	21,059	◆山口県史の校正 「通史編 近世」「通史編 現代」「別編 年表」
伝統的工芸品情報発信等支援事業 （観光プロモーション推進室）	1,835	◆全国伝統的工芸品展 大都市圏における伝統的工芸品の普及並びに需要開拓を目的として、東京で開催される伝統的工芸品展において展示・即売及び制作実演を実施 ・会場：東武百貨店池袋店 ・開催日：令和3年2月18日～2月23日
世界遺産「明治日本の産業革命遺産」インタープリテーションの推進【文化財調査指導費及び地域とともに歩む文化財資源総合保存活用推進事業の一部】 （社会教育・文化財課）	（事業の一部）	23の構成資産で統一的なインタープリテーションを確立しながら、情報発信を充実 ◆世界文化遺産登録5周年記念事業の実施（グッズ等作成、SNS情報発信） ◆国内外に向けた広報活動雑誌記事掲載 ◆ガイド研修会（3月8日） ◆共通展示システムの制作 ◆パネル展（9月29日～10月6日：県庁1階エントランスホール）等
世界遺産の保全活用、情報発信等【文化財調査指導費及び地域とともに歩む文化財資源総合保存活用推進事業の一部】 （社会教育・文化財課）	5,759	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の保全活用、情報発信及び「錦帯橋」の世界遺産登録に向けた取組を実施 ◆世界文化遺産の構成資産の修復・公開活用計画に基づく修復・公開活用事業への補助 ◆「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」による理解増進、情報発信（ピンバッチ・クリアファイル・フリクションボールペンの作製、パネル展）
文化財の調査指導費 <b>【文化財調査指導費の一部】</b> （社会教育・文化財課）	637	文化財の指定に係る調査、保存及び活用に係る指導 ◆手鑑「仮御手鑑（かりおてかがみ）」を県指定有形文化財（書跡）に指定

文化事業費 （社会教育・文化財課）	220	◆文書館による古文書解説者養成講座 ◆アーカイブズウィークの開催 「情報と記録～つたえる つなぐ 文書館～」 ※コロナ禍のため中止 ◆文書館webサイト、SNSを活用した歴史情報発信 ◆文書館研究紀要、文書館ニュース刊行（年1回）
山口県戦略的情報発信推進事業【戦略的情報発信推進事業の一部】 （広報広聴課）	37,997	県の情報発信にマーケティングの視点を取り入れ、県の魅力を戦略的に情報発信 ◆外部専門人材による広報コンサルティング ◆広報コンサルティングに基づく情報発信
情報発信事業 （（公財）山口きらめき財団）	—	◆ホームページ運営 ◆広報誌「きらめきNEWS」を発行（年1回、1,000部） ◆メールマガジン「きらめきメール」を発行（年3回、各500件） ◆財団リーフレットを発行

### 《取組の評価》

- ・全国初の試みとして、県立美術館と県内の小学校2校を5G通信で接続し、遠隔授業「5Gアートスクール」を実施。また、5G通信を活用し、雪舟の代表作「国宝「四季山水図（山水長巻）」を体感するVR（仮想現実）コンテンツを制作するなど、最先端技術を活用した文化資源の新たな魅力創出を図った。今回の取組の成果を広く県内に展開・波及する事により、美術館への誘客や周遊促進につなげていく必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により休止や自粛を余儀なくされた文化活動を支援するとともに、県民の文化芸術に触れる機会を提供するため、文化人材バンク「パフォーマーズやまぐち」に登録する文化団体・個人の活動、パフォーマンス動画をWeb配信した。コロナとの共存を前提とした「新たな日常」においても、文化芸術の振興が図られるよう、こうしたオンライン化の取り組みをはじめ、デジタル化など新たな技術も活用しながら、本県の多彩な文化資源を活用した交流の拡大に取り組んでいく必要がある。
- ・文化イベント情報誌「Cu1-ちゃ やまぐち」やSNS等を活用した情報発信により、本県が誇る多彩な文化資源の魅力が全国に向け発信されるとともに、文化芸術活動への県民参加が促進された。
- ・さらに、雪舟生誕600年を記念した館藏品による特別企画展や、「東部地域文化振興事業」の実施により、地域の特色を生かした文化芸術の振興が図られた。
- ・今後とも、美術館を核として地域の様々な文化資源を活用する取組を拡充するなど、文化芸術と観光・スポーツ等との融合により、本県の文化力の向上や交流拡大に向けた取組を推進する必要がある。